

経営比較分析表

東京都 瑞穂町

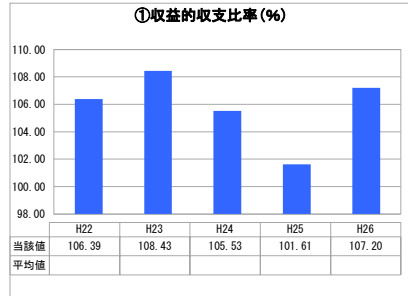
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	96.98	89.63	1,571

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,808	16.85	2,006.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,696	7.48	4,371.12

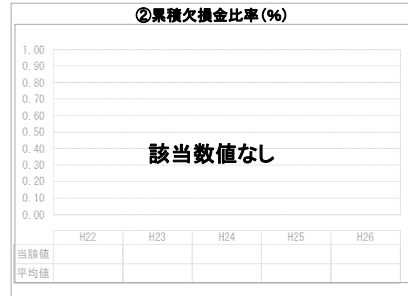
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



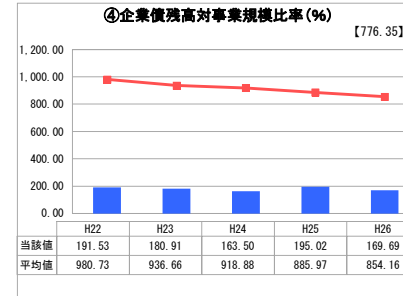
「単年度の収支」



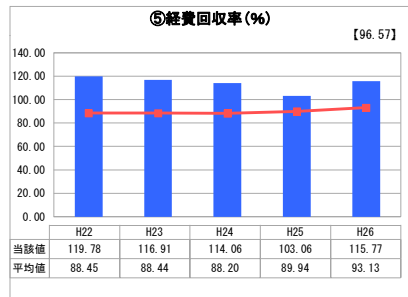
「累積欠損」



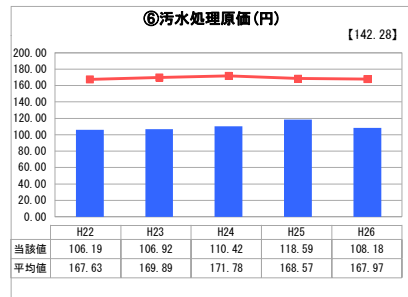
「支払能力」



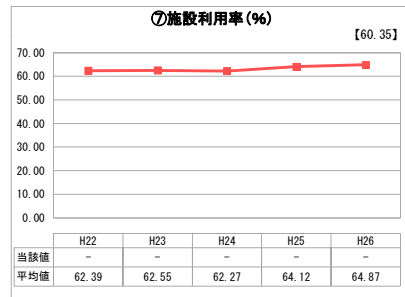
「債務残高」



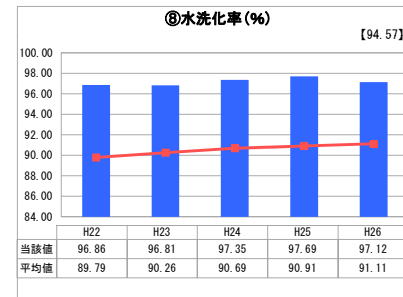
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

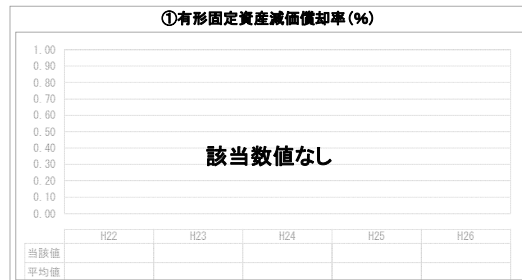


「施設の効率性」

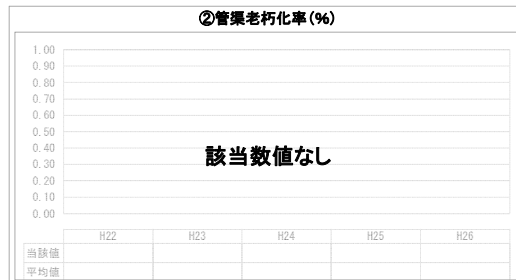


「使用料対象の捕捉」

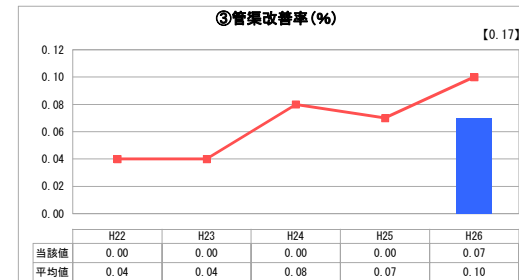
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率については、100%以上を維持しており、類似団体平均値を上回る比率となっているが、今後、人口減少及び節水傾向による使用料収入の減少、施設更新等による維持管理費の増加が見込まれる。

企業債残高対事業規模比率については、企業債に依存しすぎることなく、償還も順調に進み、類似団体平均値と比較して、企業債残高は少額となっているが、今後、市街化調整区域の管渠整備、長岡1号幹線の雨水管整備等の財源として企業債を予定しており、比率は増加する見込み。

汚水処理原価については、類似団体平均値と比較して、効率的な汚水処理が実施されているが、今後、施設更新等による維持管理費の増加が見込まれる。

水洗化率については、類似団体平均値と比較して、高い数値となっているが、市街化調整区域の管渠整備を進めており、一時的に数値は下がる見込みである。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率について、類似団体平均と比較して、改善率が低いですが、平成26年度に維持管理計画を策定しており、平成27年度より管口カメラ調査を実施している。その結果に基づき長寿命化計画を策定し、計画的に管渠改善を図っていく。

全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平均値と比較して、健全で効率的な経営状況である。しかし、今後、使用料の増加が見込めない中で、市街化調整区域の管渠整備等の建設改良費、施設更新等の維持管理費が増加する見込みであり、更なる経費削減と財源確保に努め、健全経営を維持していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。